



体育大会に向けて～リーダーの頑張りと結団式～



4月27日(月)から、応援リーダーの朝練習がグラウンドでスタートしました。家庭訪問期間中に、応援リーダーやダンスリーダーが、朝や放課後に少しずつ準備をしていましたが、今日からは応援リーダーのグラウンドでの朝練習のスタートです。3年部の先生方や体育科の先生方もたくさんおられ、気合の入った掛け声がグラウンド中に響いていました。3年部の先生方から、リーダーとしての心構えをしっかりと話し込んであったので、一人一人の表情にもやる気がみなぎっていました。さらに24日(金)には私から、「リーダーとしてのあり方」「団員に身に付けさせたい資質」「行事を行事で終わらせない」ことを話しました。このリーダーのもと、今年の体育大会も素晴らしいものになると期待できる1回目の朝練習でした。月曜日の2・3時間目には、3年生の全体練習が行われていました。マスゲームの動きの確認を行っていましたが、先生方の指示の声が非常に少なく、生徒が色々と指示を出す姿に、凄く頼もしく感じました。いいスタートを切ることができましたが、必ず行き詰る時がきます。その時に諦めずにやりぬくこと。それが「踏ん張る力」をさらに伸ばすことになると思います。

28日(火)の3時間目には結団式が行われました。私からは4点お願いしました。

- ① 日常生活を大事にすること。(時間を守るなど、日常生活の延長線上に体育大会がある。)
- ② 行事を行事で終わらせない。(体育大会で学んだことが今後の学校生活につながること。)
- ③ 「育成すべき資質能力」5つのうち、どれか一つでもいいので、意識をして取り組むこと。
- ④ 素早く移動、体育服の着こなし、係の仕事等、得点にならない所を頑張ること。

これを受けて、各団団長の森田毅竜さん、白石大夢さん、永尾海斗さん、田中翔太さん、内田陽太さんが、短いながらも力強い決意表明をしてくれました。その後に執行部から体育大会スローガンの発表がありました。西田楓会長と、体育委員長の永尾海斗さんからは次のような話がありました。一部紹介します。

(会長)

- ・ 体育大会スローガン「全力疾走～つなげ最強の絆～」
- ・ 「つなげ」には、【想いのこもったバトンをつなぐ】と、【みんなの気持ちを一つにつなぐ】という2つの意味が込められている。三中生全員がバトンをつなぐだけではなく、クラスみんなの心、三中生の心をつなげ、学校全体の絆を深めていこう。
- ・ 仲間や保護者、地域の方々とつながる喜びを感じられる最高の体育大会にしよう。

(体育委員長)

- ・ 体育大会を通して、学年を超えて、支え合い、学校全体の団結力を高めたい。
- ・ 大きな声での挨拶や返事、時間を守ること、そして主体的に行動できる三中生に成長していきたい。
- ・ 真剣にしながらも楽しむこと。そして成功させるために、生徒一人一人の協力が必要不可欠。

5月17日(日)の本番を楽しみにお待ちしております。

臨時全校集会～4月24日(金)1時間目～

23日(木)の地域の方からの電話。「三中生が自転車で道いっぱいに広がって下校している。車をよける時にも奇声をあげて危険な乗り方をしている。」という連絡がありました。

「命の危険につながる行為」「自分や他人の心や身体をわざと傷つける行為」については、厳しく対応することは、入学式の式辞・全校集会での話・PTA総会でも話しました。今回の件はまさにそれにあたるので、臨時の全校集会を行いました。

- ・ 先生方は、基本的にあなたたち一人一人を信用している。だから何か生徒指導事案があっても、必ず事情の聞き取りをして、あなたたちの成長につながる指導を行う。しかし、聞き取りたくても命を落としてしまったら、聞き取りができない。それが「取り返しがつかない」という意味である。
- ・ 今回はたまたま大きなケガや命を落とすようなことがなかったのですが、このような集会が行えている。もし命を落としていたら、全く違った集会を行うことになり、保護者の方々・先生方、そして仲間にも心に大きな傷を残すことになる。何より、自分自身の未来が閉ざされてしまう。
- ・ このような大きな事案が起こる前には、実は小さな事案がたくさん積み重なっている。日常生活の小さなことを、「これくらいいいだろう」と積み重ねていった結果である。「8:14に着席」「安全タスキの着用」「一分前黙想」「下校前の机・椅子の整列」「自分のロッカーの整理整頓」「仲間への配慮(欠席等でいない時)」「自分のシューズの片づけ」等、もう一度初心に戻って見つめなおす必要がある。

結構厳しめに話をしました。きっとわかってくれると信じて。

4月27日(月)の朝からの正門での登校指導&挨拶運動。登校時刻はずいぶんと早まりました。安全タスキをつけていない生徒もほとんどいませんでした。「ちゃんと受け止めてくれたのだな」と嬉しく思います。さすが三中生だなと思います。

「同じことを3回繰り返した時」も厳しく指導をすると話しています。なぜなら、1回目、2回目のミスの際に、真剣に反省をしていないからです。今回、三中生はきちんと反省してくれたのだと思います。「雨降って地固まる」とはまさにこの事だと実感しました。